

目次

- 1面 ICT学習会/保護者の皆様へ
- 2面 特集 災害について考える1 頼りになるぞ 子どもたち
- 3面 特集 災害について考える2 やはり予知は難しい!! だからこそ大地震に備えよう!
- 4面 親と子のつどい/写真会表彰式

市P協かわさき

発行者 川崎市PTA連絡協議会
 会長 吉澤 慶太
 編集 市P協広報委員会
 事務局 川崎市川崎区富士見2-1-3
 ☎ 044-210-0072
 FAX 044-210-0073
 市P協HP http://www.pta-kawasaki.jp/
 印刷所 有限会社 協立印刷社
 ☎ 044-222-4205



近年、携帯ゲーム機等による児童ポルノなどの被害が増えています。ゲーム機からチャットサイトに接続し、同世代の子たちと複数人でチャットをしていたところ、これに目をつけた犯人が年齢を偽り児童に近づき、別のチャットサイトに誘い出し、「体を見せて」としてこく迫りゲーム機のカメラ機能で

携帯ゲーム機には、ペアレナタル機能があります。これを利用する事が有効である。
 ※ペアレナタルコントロール機能とは、保護者が子どもに悪影響を及ぼす可能性のあるコンテンツやサービスに対して、フィルタリングなどを使い利用制限をかけることができます。

近年、携帯ゲーム機等による児童ポルノなどの被害が増えています。ゲーム機からチャットサイトに接続し、同世代の子たちと複数人でチャットをしていたところ、これに目をつけた犯人が年齢を偽り児童に近づき、別のチャットサイトに誘い出し、「体を見せて」としてこく迫りゲーム機のカメラ機能で

裸の写真を撮らせて送信させた。
 金子 浩丈氏

ゲームソフトの通信機能にも注意!
 ゲームソフトの通信機能を通じて児童と知り合った犯人が、児童の携帯電話番号や無料通話アプリのID等を聞き出し、執拗に迫り、児童を呼び出しホテルで淫らな行為に及んだうえ、これを撮影した。

手口①
 ゲーム機から一般のインターネットサイトへの接続に注意!

手口②
 ゲームソフトの通信機能にも注意!

2017年7月3日(月)、エポックなかならにて川崎市PTA連絡協議会主催のICT学習会が開催されました。スマートフォンなどインターネットに接続できる様々な機器が、子どもたちにも急速に広がってきています。反面、生活習慣が乱れたり、トラブルや犯罪被害に巻き込まれたりするなどの報告も多くなりました。インターネットを賢く利用できる子どもを育てるために、私たち大人ができること、子どもたちが考えなければならぬことについて、参加の皆さんとともに学びました。

コミュニケーションサイト等における児童被害の現状
 警察庁 生活安全局 情報技術犯罪対策課 課長補佐 金子 浩丈氏

ICT学習会 ネット社会に潜む危険から子どもを守ろう



子どもは簡単に、見知らぬ相手となりがつてしまう。ネットを利用して小学生から高校生にアンケートをとったところ、半数が知らない相手とネットでやりとりをしています。



竹内准教授は、公益財団法人兵庫県青少年本部が主催する「人とつながるオフラインキャンパ」のコーディネーターをされています。兵庫県在住のネットをやめられない小学5年生18歳以下(20名)が対象なので川崎市在住者は参加できませんが、2016年に行われたキャンパについてお話がありました。

竹内准教授は、公益財団法人兵庫県青少年本部が主催する「人とつながるオフラインキャンパ」のコーディネーターをされています。兵庫県在住のネットをやめられない小学5年生18歳以下(20名)が対象なので川崎市在住者は参加できませんが、2016年に行われたキャンパについてお話がありました。

竹内 和雄氏
 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授

オフラインキャンパから見たこと
 竹内 和雄氏
 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授

これが、保護者の感じる不安ベスト4!

安心ネットづくり促進協議会が、幼児・児童の保護者を対象に、「子どもがインターネットを利用する上での不安」について、アンケートを実施しました。不安ランキング1位から4位は以下のとおりです。
 (調査時期: 2015年12月7日~2016年1月25日)

「健康に影響がないか心配」
1位 身体・運動機能の発達
 対策
 ▶早寝・早起き・朝ごはん & 外遊び!
 ▶体をいっぱい動かして遊ばせよう。この時期にしかできない遊びがたくさんあります。友だちとの日常的なコミュニケーションが一番大切です。

「子どものネット依存が心配」
2位 ネット依存
 対策
 ▶ご家庭で利用時間をコントロールしましょう!
 ▶インターネットの長時間利用にならないよう、使用する頻度や時間を家族で話し合しましょう。

「危ないサイトについてトラフィックに巻き込まれないか心配」
3位 不適切な情報に触れる
 対策
 ▶インターネット利用には、まずフィルタリング!
 ▶有害な情報にふれさせないためには「フィルタリング」が有効です。大切なお子様を守るために、必ず設定をしましょう。(インターネットにつながる音楽プレイヤーなども注意!)

「子どもがいじめにあっていないか心配」
4位 ネットいじめ被害/加害
 対策
 ▶日常のモラルがネットのモラル!
 ▶やって良いこと、悪いこと、ネットのモラルは特別なものではありません。ご家庭では、相手を思いやる気持ちや、自制心・判断力・想像力を育み、日頃から何でも相談できる家庭環境を作りましょう。

お子様がインターネットを安全に利用するためにフィルタリングを設定しましょう!

- ネット利用は気持ちから~家庭でできる大切なこと~
- ♥ 相手を思いやる気持ちを育みましょう
 - ♥ 自制心・判断力・想像力を育みましょう
 - ♥ インターネットについて家庭で話し合しましょう



保護者の皆様へ
 お子様はインターネットを利用する上でこんな心配事ありませんか?
 川崎市PTA連絡協議会では、平成19年度より、インターネット利用に関する啓発活動を実施しています。ご家庭において、インターネットを利用する子どもたちが自身の気持ちを育むことが、さまざまなトラブルを回避する予防策の一つと考えます。